



㊦ 4月28日(水) ㊦ 役場

全国の舞台で大活躍!

3月30日に東京都、4月5日に仙台市で開催された「第11回ヨーロッパ国際ピアノコンクールinJapan 小学1、2年の部」に山田寧々さん、沖野詩月さんが出場し、金賞・銅賞を受賞したことを村長に報告しました。

山田さん、沖野さんは、昨年12月に開催された同大会のオンライン審査にて全国大会への出場権を獲得。オンライン審査を勝ち抜いた演奏者が全国各地から集まる中、普段の練習の成果を十分に発揮し、素晴らしい演奏を披露しました。



㊦ 4月27日(火)

野菜の摂取量を数値化

令和3年度の健康サポート事業の一環として、野菜摂取量が見える化できる機器「ベジチェック」が導入されました。センサーに手のひらをのせて約20秒で計測できます。機器はカゴメ株式会社から1年間レンタルし、今後の集団検診や各種保健事業で活用する予定です。健診データと合わせて野菜摂取量を集計・分析し、村民の健康や食生活の課題把握を行っています。



㊦ 5月6日(木) ㊦ 役場

長年にわたる環境美化活動に表彰

猿払村漁業協同組合女性部が漁港愛護優良団体として北海道漁港漁場協会より特別表彰を受けたことを村長に報告しました。

令和2年の漁協清掃等の漁港愛護運動は、コロナ禍の中で中止となる団体もありましたが、今年度も継続的に実施している団体の中から過去の実績等を考慮して授与されました。

猿払村漁業協同組合女性部は、漁港愛護運動として毎年、植樹を行っています。



㊦ 4月28日(水) ㊦ 鬼志別小学校

交通安全ルールを再確認

鬼志別駐在所の梅津所長と役場の交通安全担当職員2名を講師に、交通ルールや自転車の乗り方を学ぶ「青空教室」が行われました。まずは、ダミー人形を使い自動車と人が衝突する事故を再現。時速20キロと時速40キロで走るパターンを1回ずつ行いました。ドンッという大きな衝突音と同時に飛ばされて倒れる人形を見て、「キャー!」という悲鳴が上がりました。今は人形だけど、これが人だと大怪我や死に至ることもあるとの説明を受けて、児童は「怖い!」と交通事故の怖さを実感しました。



今年にはコロナ禍で大勢での新年会は難しかったため、食事で雰囲気を楽しもうと見た目も豪華な海鮮丼とサクサクの天ぷらを食べました。どちらも美味しさだけでなくボリュームがあるため「美味しい上に量もあるから幸せだ。みんなにも食べて欲しいよ」と嬉しい言葉がありました。料理だけの新年会となりましたが、とてもありがたく嬉しい言葉が多く、成功したと思える一日になりました。

1月 新年のお祝い



利用者様と職員が合同で避難訓練を行いました。施設内での火災を想定し、実際に火災が発生した際に適切に対応できるように訓練を行いました。何も起きないことが一番大切ですが、いざ火災があった時は瞬時に行動できるようにしておくことは大事だと改めて考えさせられる訓練になりました。

2月 火災訓練



3月3日の食事にちらし寿司が出ました。ちらし寿司はひなまつりにちなんで菱餅の形になっていて「かわいいね、食べる時に崩すのがもったいないよ」と嬉しい声もありました。他にもお吸い物や煮物などがあり「どれも美味しかったよ」と感想をいただきました。みなさんが見て楽しむ、食べて楽しむ食事が提供できて良かったと思える日になりました。

3月 ひなまつり

地域と繋がる施設を目指して

小規模多機能型居宅介護施設「楽楽心(ららはーと)」での日常風景やイベントの様子をお伝えします。

■ 地域交流課 ☎ 212722